



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2010

7月10日号

121
VOL.

発行所 社団法人 福島県放射線技師会

〒960-8003 福島市森合字蒲原16-7 TEL/FAX 024(559)1043

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

変わる日本放射線技師会



会長 鈴木 憲二

6月5日(社)日本放射線技師会の総会が開催された。

昨年まで総合学術大会で行われた永年勤続表彰が議事に先立ち行われ、本会から50年勤続表彰として伊藤陸郎事務局長が、30年勤続表彰として志賀秀範氏が授賞式に出席され、それぞれ永年勤続表彰を授賞された。

熊谷前会長時代は強引及び排他的な運営、熊谷前会長が役員として設立した出版社、平成19年総会での強引な運営手法等会員に対して不信感を抱かせた。今回の総会は今までの混乱した総会とは違い粛々と議事が進められ、平成22年度の予算案以外は大幅に過半数を越す賛成で承認された。今年度は役員改選があり平成22・23年度の選挙が実施され、地域選出理事15名、会員監事1名は定数内であり当選となった。理事会推薦理事16名と会員外監事1名については選挙規定により信任投票となり投票の結果、全員が過半数を超えた信任票を得て選任された。翌日開催された理事会の会長挨拶の中で平成21年度事業の中で未消化の事業があったこと、第26回総合学術大会の準備が遅れ東京都及び首都圏技師会に多大の迷惑をかけたので会長職を降り会の運営を後任に委ねたいとの表明がされた。新会長には東京都放射線技師会の中澤靖夫会長が信任され、本県から片倉監事が財務担当常務理事、私が災害対策理事で日本放射線技師会の役員として2年間勤めることになった。中澤靖夫新会長は3C (Clean 清潔、Clear 透明性の確保、Communication 対話) の技師会を作る会の世話人として熊谷元会長の傲慢な日本放射線技師会の運営に批判してきた。これからの日本放射線技師会は各都道府県放射線技師会の主体性を尊重し、協力しながら会の運営を図っていくと思われる。福島県から2名の理事が選任されており、日本放射線技師会への要望等があれば是非福島県放射線技師会を通して意見及び要望をお願いしたい。

公益法人移行申請を6月末に福島県庁に提出した。今以上に公益性のある活動を行うため以前も記述したりレー・フォー・ライフ2010in福島を役員一丸となって取り組むこととした。9月4日(土)から5日(日)にわたって福島医大 陸上競技場をメイン会場として開催されるので是非参加をお願いしたい。また県民へのよりよい医療提供するためには会員の技術向上と知識の高揚が必須であり、福島県放射線技師会の各分科会や研究会で開催している研修会や講演会を受講するように希望する。

第63回福島県放射線技師会総会開催される

平成22年度（第63回）福島県放射線技師会総会が、5月15日、16日会津支部担当のもと会津東山温泉「東山グランドホテル」で開催された。

総会に先立ち学術委員会分科会活動について各分科会担当から報告された。続いて一般公開形式で特別講演が行われ、「災害活動現場の現状」と題して会津若松消防本部警防グループ 消防司令 真部文夫先生から火災現場、交通災害現場等の活動状況について、個々の事例ごとに、我々もその現場に遭遇しているかの様な、緊張感が伝わってくる内容に会場内は聞き入っていた。



総会は会長挨拶の後に表彰式が行われ、50年永年勤続は伊藤陸郎、30年永年勤続は青柳不二雄（大原総合）、村上博文（川俣）、佐々木徹（太田総合）、白川義廣（竹田総合）、星寿郎（坂下厚生）、泉英親（菅波病院）、志賀秀範（磐城共立）の各氏の名前が読み上げられた。20年永年勤続として高野基信（県立医大）、阿部智（大原総合）、木戸敏平（福島西部）、渡辺義秋（保健衛生）、堤雅紀（星総合）、増子勇一（寿泉堂）、水谷和芳（西会津診療所）、渡部仁（喜多方病院）、遠山和幸（会津総合）、村上薫（小野田）、森下克彦（かしま）、村上光幸（磐城共立）の各氏は本年度県総会での表彰状授与となった。

学術奨励賞は、平成21年度学術奨励賞が永井千恵（県立医大）、田代和広（白河厚生）の両氏、シネ研学術奨励賞は片倉俊彦 他の各氏が選ばれた。

平成21年度生涯教育ポイント表彰者は、上位ポイント取得者のうち主催者側である堀江常満、鈴木憲二両氏を除いた、佐藤美千男（栞記念）、村上克彦（県立医大）、実川剛（磐城共立）、佐々木亮浩（福島労災）の4名が同ポイント取得者として表彰状授与となった。

総会は、議会運営委員長の小松一文氏より、本総会は会員総数625名中457名の出席があり、成立する旨の宣言があった。議長に鈴木宏昭及び古川義一両氏が選出され、提案された議題は、原案通り可決された。

総会の後は恒例の賛助会員を交えて情報交換会が行われ盛会のうちに終了した。

第63回（平成22年度） （社）福島県放射線技師会総会議事録（抄）

1、日 時：平成22年5月15日 午後4時45分

1、場 所：東山温泉 東山グランドホテル

1、会員総数：625名

1、出席者数：457名（うち委任状出席者403名）

総会運営委員長小松一文より、会員総数625名中457名の出席があり、有効に成立する旨の報告があった後、議長選出に入った。

議長には会員鈴木宏昭及び古川義一が選出され、議長は議事録署名人に会員山下朋広及び小山英明を指名する旨提案があり諮ったところ、満場一致により承認された。ついで下記議案について審議に入った。

1、議 題

第1号議案 平成21年度事業報告について

会長鈴木憲二から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第2号議案 平成21年度決算報告について

担当理事佐藤勝美から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第3号議案 平成21年度監査報告について

監事片倉俊彦から平成21年度監査を、平成21年4月12日に行った結果、各予算の執行は適正に処理されており、預金通帳・領収書・会計帳簿等について正確であるとの報告があり、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく承認された。

第4号議案 平成22年度事業計画案について

会長鈴木憲二から詳細な説明がされた後、議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第5号議案 平成22年度予算案について

担当理事佐藤勝美から詳細な説明がされた。収支予算書の中で数値訂正があり、積立金会計予算中、繰出金収入を805,000円、雑収入を15,000円に変更して提案された。議長はこれを議場に諮ったところ、満場一致異議なく可決承認された。

第6号議案 その他について

会長鈴木憲二から、平成22年度全国放射線技師総合学術大会への参加の勧誘、副会長遊佐烈から、平成22年9月に福島県立医科大学を会場に実施される「リレー・フォー・ライフ」への参加呼びかけがあり了承された。

以上をもって議案全部の議事を終了したので議長は午後6時10分閉会を宣言し解散した。

『リレー・フォー・ライフ2010in福島』
参加者募集

福島県立医科大学附属病院放射線部 遊佐 烈
リレー・フォー・ライフは、がん患者・その家族、その支援者らが会場を交代で夜通し歩き続けながら、絆を深めあい、がん制圧への願いを社会へ発信していくチャリティイベントです。しかし、全員が夜通しで歩かなければならないものではありません。

自分の都合で土曜日の夕方しか参加出来なくても結構ですし、日曜日の午前中しか参加出来なくても結構です。おそらく全てのチームが夜通し歩き続ける事は出来なんでしょう。

それでも構わないそうです。参加出来る方が自分の使える時間をリレー・フォー・ライフの為に少しでもつけて下さい。それで結構です。



至 急
マンモグラフィ撮影技術講習会（9月11～12日）募集定数割れで開催危うい。
7月末まで募集継続。至急、ホームページ又は024-559-1043にFAXで申込み下さい。

『第24回 福島県臨床画像研究会』開催される

平成22年6月26日(土)福島テルサにおいて、第24回福島県臨床画像研究会が開催された。

今回のシンポジウムは、「CRからFPDの時代へ」と題して(株)島津製作所 武尾和浩先生、シーメンス旭メディック(株) 中村宰治先生、GEヘルスケアジャパン 菊池 亨先生、富士フィルムメディカル株式会社 小川博之先生、



(株)キャノンマーケティングジャパン 長島正美先生、日立メディコ 前田道利先生、コニカミノルタ 竹内浩美先生、東芝メディカルシステムズ(株) 鈴木浩一先生方に各社FPDの製品紹介ならびに特徴についてわかりやすく講演していただいた。

特別講演は「乳房のMRI診断」と題して、仙台市立病院放射線科 山田隆之先生より乳房MRIのガイドライン、乳がん診療ガイドラインの解説を交えながら、MRIの適応症例等についてわかりやすく講演していただき、大変有意義な内容となった。約100名近い参加者で会場は熱気のある研究会となった。(今野)

平成22年度 福島県放射線技師会学術大会
演題募集のご案内

平成22年度 福島県放射線技師会学術大会
演題募集要項

開催日 平成22年10月31日(日曜日)

会場 県立福島医科大学 講堂

演題申込方法 700字以内の抄録

- ①演題名、②施設名、③発表者名：会員番号《共同研究者を含む》、
- ④目的、⑤方法、⑥結果《図表不可》を記入のうえ、県HPからメール(1演題1メール)で申し込んでください。

申込期間 22年6月1日から

予稿集は10月下旬には発送予定しております。

例年のランチョンセミナーと、一般公開講演を予定しております。

※今年から発表時は各自PC持ち込みでお願いします。これは動画等に対応するためです。

大会事務局 〒963-8558 郡山市2-5-20

太田西ノ内病院 放射線部内

実行委員長 新里昌一

電話 024(925)1188 (内線)31265

支部だより

県北支部

「平成22年度県北支部総会」開催される

去る平成22年4月23日、県北支部総会が福島テルサにおいて開催された。保健衛生協会の林王明美さん、福島医大の後藤孝さんが議長に選出され「会員数166名中、委任状を含む出席者が135名」との資格審査委員からの報告で総会の有効宣言がされた。議事は大きな問題も出ず淡々と進行し、事業計画及び予算も満場一致で承認された。総会では佐藤靖芳支部長より「本年度も支部独自の勉強会を開催しながら多くの会員が参加していただけるよう努力していきたい」とのお話があった。



その後、懇親会が行われ席上、鈴木憲二県会長より今年度日本放射線技師会の役員改選が行われる事にふれられ「地方に還元した取り組みや会員のための運営をもう少ししていただくよう中央に提言していきたい」とのお話があった。また今年9月に開催される「リレー・フォー・ライフ・2010イン福島」への積極的参加もあわせてお願いがあった。今回も多くのご賛助会員の参加もあり和やかな雰囲気の中で遅くまで親睦が続いていた。今後も支部の活動をより活発化するために会員の皆様の積極的な参加を望みます。(池田)

会津支部

「第32回会津MRI研究会」開催される

平成22年5月28日、山鹿クリニック2階会議室において、会津MRI研究会が開催されました。当研究会も第32回を迎えることができ、まずはじめに共催していただいているバイエル薬品株式会社さんから「診療報酬改正について」ということで、発表をいただきました。ご存じの通り、今年度初めに診療報酬改正がなされており、今回はどういう状況になっているのか、DPCが絡んでくるとどうなるのかなど、改めてご教示いただきました。また、GEヘルスケア・ジャパン株式会社さんからは「最新ソフトのご紹介」と題して、新しい脂肪抑制技術であるIDEALを中心にご講演をいただきました。このIDEALは局所磁場不均一を克服した技術で、従来では困難だった複雑な形状の部位において、非常に良好な脂肪抑制画

像が可能となり、1回の撮像で脂肪抑制有り無しを含む4種類の画像を得ることができる興味深いアプリケーションでした。



発表の後にはフィルムカンファレンスとして、頭頸部領域の画像を中心にミーティングを行いました。

各施設とも頭頸部領域、特に眼窩や副鼻腔などの撮像においては様々な工夫をされているようで、いろいろな情報を持ち寄り意見を交換して、そこから様々な発想が生まれて、非常に有用なカンファレンスを行うことができました。(森谷)

県南支部

「県南支部理事会」開催される

去る6月9日、郡山市のピックアイにて県南支部理事会が開催されました。県技師会会務報告や今年度の活動についての意見交換がされました。近い予定では、7月31日(土)午後より郡山市のピックアイ7Fにてサマーセミナーを開催いたします。



講演は「賢くCTを使いこなす為の基本特性とADCTの特徴解説

(仮)」「H22年度診療報酬改定の影響とフィルムレス化に伴う問題点(仮)」の2題を予定しています。多数のご参加を希望しております。(本間)

編集後記

梅雨の季節。色鮮やかな紫陽花が目をはきまします。そしてあちこちで見かけるかたつむり。実は結構種類があるそうです。カラの渦の巻き方も右巻きが主流で、左巻きなのはその名も「ヒダリマキマイマイ」だけだとか・・・仕事に追われる日々、朝のすがすがしい景色を楽しむ心のゆとりを持ちたいものです。(池田)